



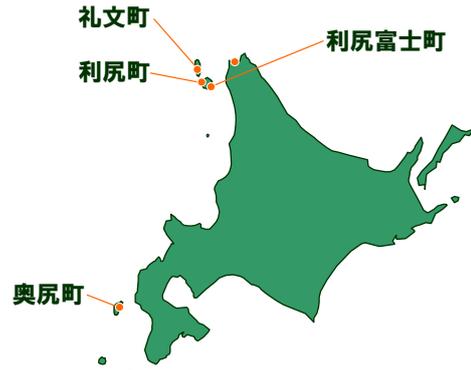
にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

編集者より

今回の「にぎわい通信」第160号では、礼文町及び利尻富士町での“にぎわい”を紹介するとともに、ネットワークの主要課題の1つでもあります「漂着ごみ問題」について、礼文町、利尻町、奥尻町での今年の海岸清掃の状況を報告します。

また、礼文島（香深港）へのクルーズ船の寄港情報もお知らせいたします。



会員だより

れぶんちょう 礼文町

礼文町香深港が北海道みなとオアシスに登録されました！

みなとオアシスの登録は、平成22年12月27日に仮登録を受けた「みなとオアシスれぶん」は、運営管理を実施する礼文地域再生プロジェクト協議会の承認を得て、平成23年5月16日に申請書の提出を行い、6月13日に登録通知を受け、去る、7月17日に香深港水産まつり会場において授与式を実施し、北海道開発局の栗田港湾空港部長より小野礼文町長へ「みなとオアシス登録証」の交付が行われました。

小野町長は「元気な礼文づくり」のためには港の整備（緑地整備、情報看板等）と活用（情報発信、イベント等）は欠かすことのできないことであり、地域に愛され貢献する港づくりに取組みますと挨拶を述べて、栗田港湾空港部長からお祝いの言葉をいただき、晴れて登録を完了しております。



授与式の様子（栗田部長（左）と小野礼文町長（右））



水産まつりの様子

りしりふじちょう
利尻富士町

-利尻島一周ふれあいサイクリング 2011 に 338 名が参加！-

利尻島（周囲約60km）を自転車で一周する「利尻島一周ふれあいサイクリング 2011」が8月28日（日）開催され、島外から217名、島内から121名、合計338名の参加がありました。

島外からの参加者は前日か当日に稚内港発の鴛泊港着フェリー（8：10着）にて利尻島へ渡ります。今年は第22回目の大会で、大会前夜に交流会を開催し、参加者へ島の幸が振舞われ、出場者同士親睦を深めました。

大会当日は天候にも恵まれ利尻山も山頂まで姿を現し絶好のサイクリング日和。

コースは利尻富士町コースが鴛泊港を出発点に島を左回り、利尻町コースが利尻町役場を出発点に右回りで、開会式後に号砲を合図に一斉にスタートしました。



サイクリングの様子

参加者は本格的な競技用からいわゆる「ママチャリ」に幼児を乗せての出場など様々です。利尻島を一周すると利尻山は360度違う顔を見せ、海には礼文島が浮かび一面に広がる水平線や、漁業風景が参加者の心を癒してくれます。

参加した方にとっても素晴らしい一日になったようです。

最北の浮島「利尻島」の短い夏の最後のイベントである本大会は、来年も8月第四日曜日（26日）に開催する予定です。

“漂着ゴミ問題”について ～各地で海岸清掃を実施～

れぶんちょう 礼文町

-海岸清掃を学習の場に-

離島である礼文町においては、雪解けが進み南風の頻度が増すにつれ西海岸（観光名勝地）を中心に海外からの漂流物や漁具、木片が多く海岸に打ち揚げられ、西海岸のトレッキングコース（8.4.2 時間コース）や海岸線に漂流ゴミが散乱するなど、礼文島の玄関口である香深港（東海岸）周辺の海岸にも漂流物が散乱する状況となっています。

例年、観光時期の前に町内の各自治会の海岸清掃及び漁港清掃を皮切りに各学校（小中高）、事業所等により西海岸の観光名勝地や港湾周辺の海岸清掃を実施し5月の連休前にはお客さん（観光客）を迎える清掃活動を終了することとしています



海岸清掃状況

りしりちょう 利尻町

利尻町では海が穏やになり、漁が忙しくなる前に、毎年各地区の漁業協同組合が主体となって毎年4月下旬頃に町内の漁業者や役場関係者、組合職員など約300人が参加し、海岸で一斉清掃を実施しています。

利尻島の西海岸は、日本海を北上する対馬暖流と大陸からの西風により、島内でも漂着するゴミが多い場所となっています。近年は、魚網やロープなどの漁具以外に韓国語やロシア語で書かれた漂着ゴミが多くなりました。

くつがた せんぼうし

本年は4月29日に沓形・仙法志両地区全体で実施し、海岸一帯はいつもの美しい海岸によみがえりました。

年間約18万人の観光客が訪れる利尻島。ほかにはない美しい海。これからも地道な海岸清掃活動を通じて、今後も島民一丸となって利尻島の自然を守っていきたいと思います。



海岸清掃状況

**おくしりちょう
奥尻町**

奥尻町では、雪解けとともに道路沿いで目立ち始めた空き缶やゴミ、海岸に漂着した漂流物等の回収を図るため、「奥尻町クリーンアップ作戦」と「海浜清掃」を毎年開催しており、今年も4月16日全町一斉に行われました。

参加者は各町内会員、建設協会員、事業所員、町職員、自衛隊員、各団体、小中学生などで、ボランティアで行っております。

今年も約700人が参加し、それぞれに割り当てられた区間の道路沿いや、観光名勝地、海岸などのゴミを回収すると、約10トン、トラック23台分にもなり、これから本格化する観光シーズンを前に奥尻島のきれいな環境を取り戻すことができました。

回収するにあたり今までは、埋立処分及び焼却処理を行っておりましたが、一部を資源ゴミとして回収しております。

また、海岸に漂着するゴミの中には、日本以外のものがかなり含まれております。

奥尻町立奥尻中学校では、今年も奥尻町の景勝地の一つであります、さいの河原海岸で、総合学習の時間を利用し、ボランティア活動体験を通しての清掃活動を行っており、「清掃活動を通して、地域社会の一員としての自覚を持って、郷土を愛し、郷土の発展に努める。」ことを目的に海岸を清掃し、2トントラック2台分のゴミを回収することができました。

こうした中学校教育の一環でも環境問題に取り組む活動が、年々増えており、奥尻町全体で、環境問題への関心度が高まっています。

このように奥尻島は、透き通った海、自然豊かな景勝地、ウニ、アワビなどの豊富な魚介類とともに、ゴミのないきれいな環境の島として、皆さんのご来島をお待ちしております。



海岸清掃状況

“クルーズ船の入港情報”

れぶんちょう 礼文町

近年、依然として大型クルーズ船による離島観光が盛況で、香深港の平成23年寄港予定は、パシフィックビーナスが5回（1,574人）、にっぽん丸が2回（675人）の計画に対し、パシフィックビーナスが4回の上陸（1,207人上陸）、にっぽん丸が1回（270人上陸）の上陸で、7回のトライの内5回の上陸結果となり、上陸した、乗船客数は2隻、延べ5回で1,477名を数える結果となっております。



パシフィックビーナス入港
(香深港 H23.6.30)